特集「Society 5.0を実現するコンピュータセキュリティ技術」の編集にあたって

吉岡 克成[1,a)]

IoT（Internet of Things），人工知能（AI），ロボットや自動走行車といった先端技術の発展を背景に，少子高齢化や貧富の格差などの課題を克服し，希望の持てる人間中心の社会，Society 5.0の実現が期待されている．一方で，技術の発展と社会への浸透に伴い，これを悪用し不正に利益を得たり，他者に害をもたらそうとする試みもまた増加することが予想される．Society 5.0がもたらす恩恵は，これらの先端技術が悪用されることなく適切に機能し，利用されることが前提となっており，その実現には，不正に対抗するセキュリティ技術が必須と言える．そのため，学術界，産業界において様々なセキュリティ技術が研究開発されている．

本特集号では，Society 5.0を実現するためのコンピュータセキュリティ技術について，基礎理論，プロトコル，アーキテクチャ，ソフトウェアシステムの研究，およびそのアプリケーション，実装例，管理運用，さらには行動科学や社会科学的考察をも含めた広範囲のセキュリティ技術を議論することによりSociety 5.0の実現に貢献することを目指して企画された．

本特集号には28件の論文が投稿され，特集号編集委員会による慎重な審議を経て英文論文8件を含む17件の論文が採択された．本論文の掲載がサイバーフィジカルセキュリティ技術の向上と安心・安全な社会の実現に寄与できれば幸いである．

特集号の編集にあたり，限られた時間の中で，多様な分野の論文について慎重な査読を頂き，計画どおりに出版に至ることが出来たのは編集委員，査読者，学会関係者の方々のご尽力によるものであり，厚く御礼を申し上げたい．特に沖野浩二幹事（富山大学），山田　明幹事（KDDI総合研究所）には本特集号の企画から査読，編集，出版準備に至るまで全般的にご尽力頂き，心から感謝する次第です．

[1] 横浜国立大学
Yokohama National University
[a)] yoshioka@ynu.ac.jp

「Society 5.0を実現するコンピュータセキュリティ技術」特集号編集委員会

- 編集委員長
  吉岡克成（横浜国立大学）
- 幹事
  沖野浩二（富山大学）
  山田　明（KDDI総合研究所）
- 編集委員
  秋山満昭（NTT），井口　誠（Kii），市野将嗣（電気通信大学），大木哲史（静岡大学），大東俊博（東海大学），金岡　晃（東邦大学），川口信隆（日立製作所），菊池浩明（明治大学），佐藤将也（岡山県立大学），島岡政基（セコム），嶋田　創（名古屋大学），白勢政明（公立はこだて未来大学），須賀祐治（インターネットイニシアティブ），高橋健一（鳥取大学），田辺瑠偉（横浜国立大学），寺田真敏（日立製作所），寺田雅之（NTTドコモ），鳥居　悟（富士通），中西　透（広島大学），西垣正勝（静岡大学），縫田光司（九州大学），橋本正樹（情報セキュリティ大学院大学），長谷川まどか（宇都宮大学），濱田浩気（NTT），林　卓也（デジタルガレージ），林　優一（奈良先端科学技術大学院大学），古川諒（NEC），松浦幹太（東京大学），南　和宏（統計数理研究所），三村　守（防衛大学校），森　達哉（早稲田大学），森川郁也（富士通），山内利宏（岡山大学），吉田真紀（情報通信研究機構），渡邊裕治（日本IBM），國廣　昇（筑波大学）

© 2021 Information Processing Society of Japan